

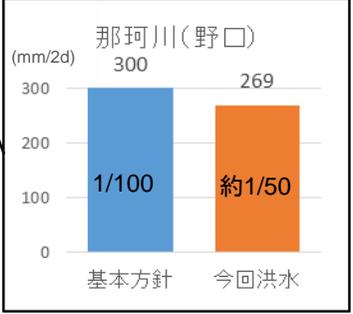
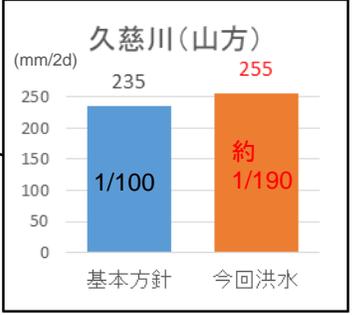
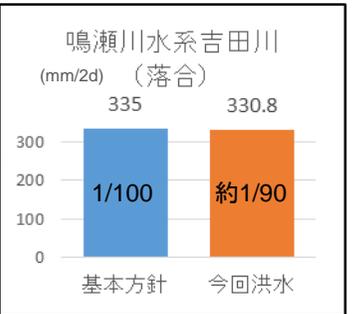
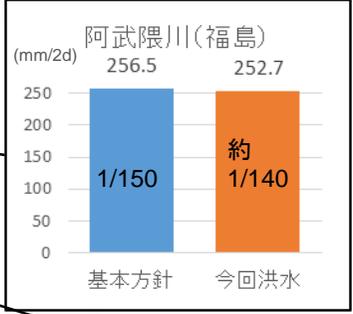
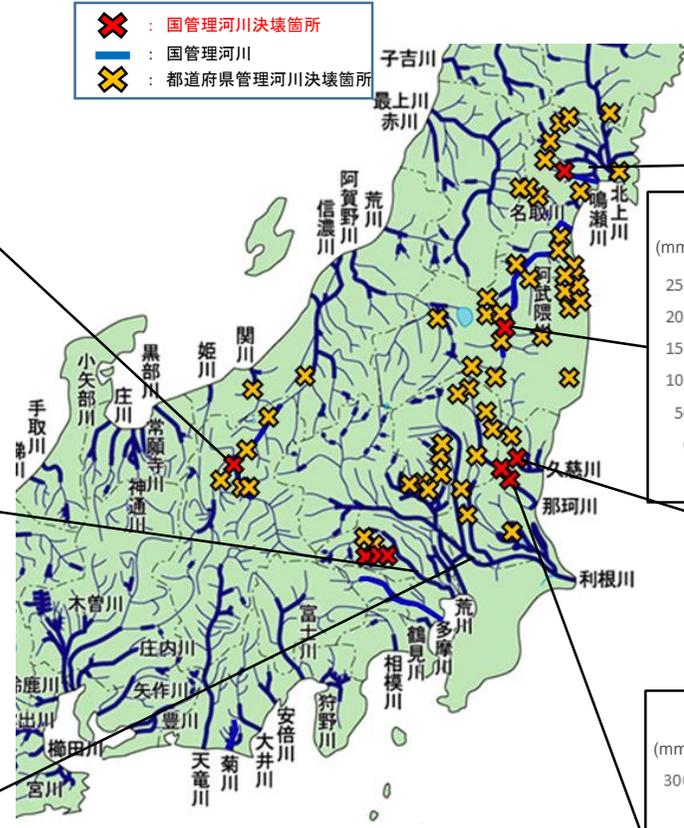
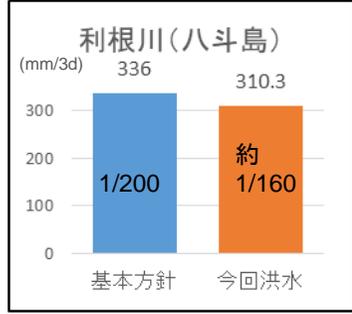
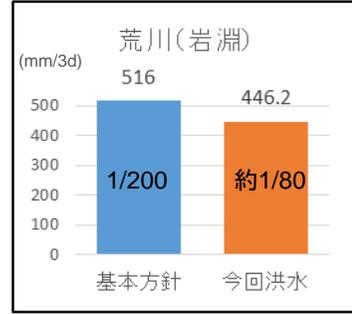
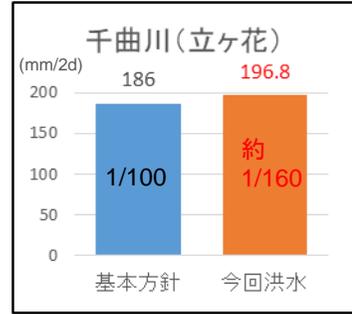
# 令和元年台風第19号による 河川管理施設被害の緊急調査速報

令和元年12月3日  
国土技術政策総合研究所  
河川研究部長  
佐々木 隆



# 台風第19号による国管理河川の状況（降雨）

- 国管理河川の阿武隈川水系阿武隈川、鳴瀬川水系吉田川、信濃川水系千曲川、久慈川水系久慈川（3カ所）、那珂川水系那珂川（3カ所）、荒川水系越辺川（2カ所）・都幾川では堤防が決壊。
- これらの河川では、基準地点上流域平均雨量が河川整備基本方針の対象雨量を超過又は迫る雨量となった。



※決壊箇所は、令和元年10月21日 7:00時点 判明情報  
 ※荒川は支川で決壊が発生、利根川では決壊はない。  
 ※数値は速報値(R1.11.19時点)であり、今後変更となる場合がある。

※気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会資料

# 台風第19号の影響により氾濫危険水位を超えた国管理河川

○ 台風第19号では、13水系40河川で氾濫危険水位を超過。



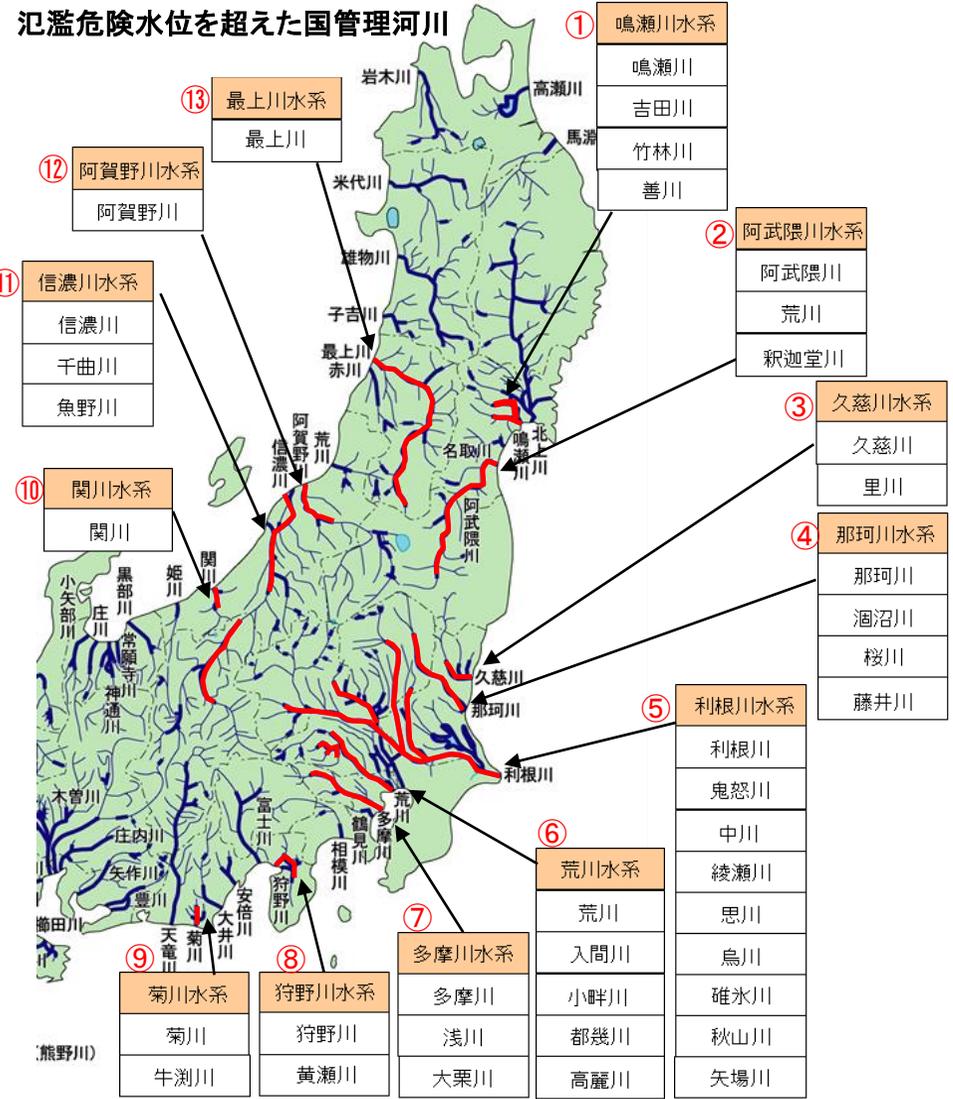
阿武隈川水系阿武隈川(福島市) 10月14日 9:40頃



阿賀野川水系阿賀野川(新潟市) 10月13日 6:30頃



多摩川水系浅川(八王子市) 10月12日 21:20頃



※気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会資料

# 台風第19号の影響による河川の被害状況

## 国管理河川

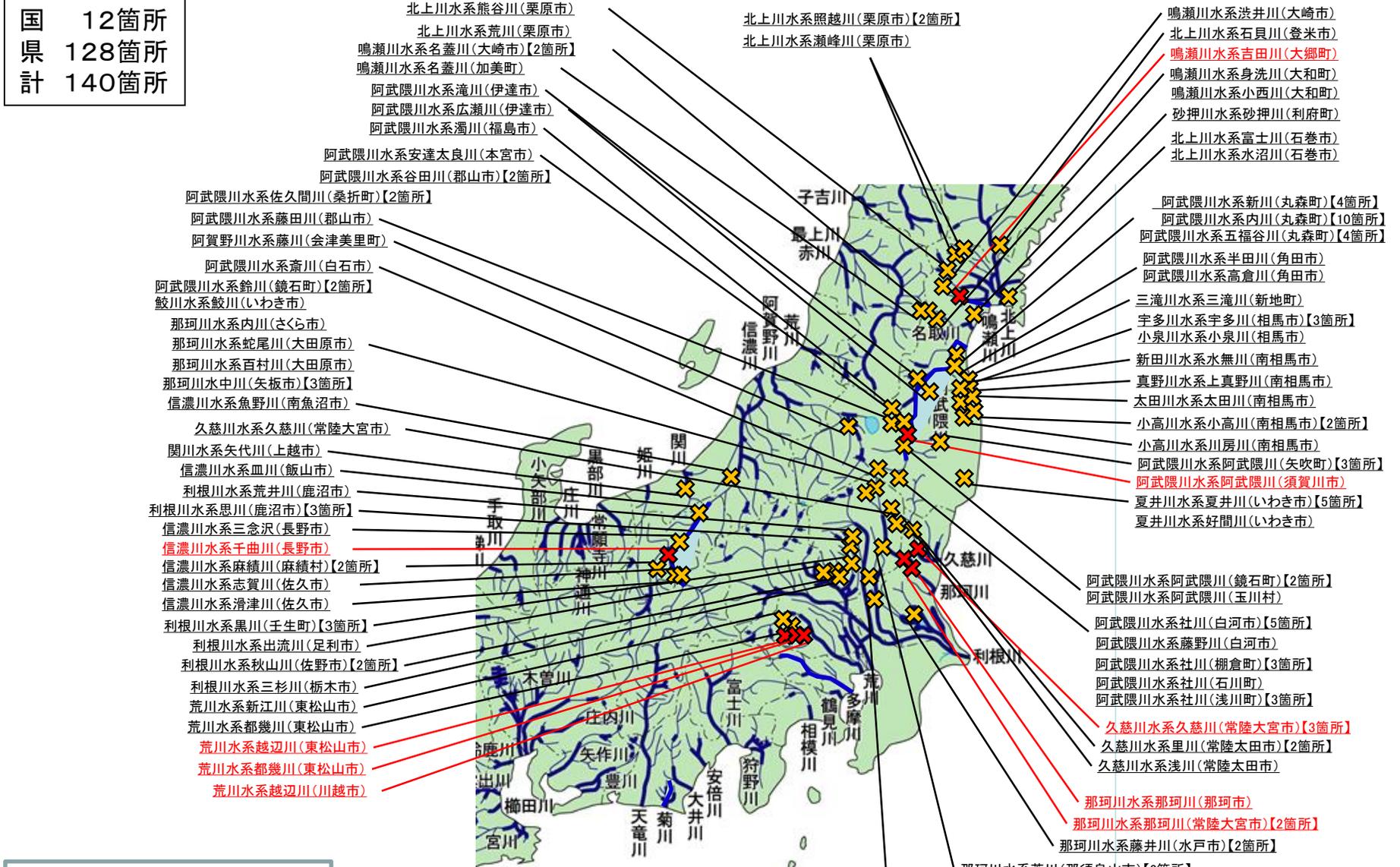
## 都県管理河川

堤防決壊			越水等による浸水被害	堤防決壊		越水等による浸水被害	
6水系	7河川	12箇所		20水系67河川	128箇所		61水系274河川
鳴瀬川	吉田川	1	14水系 29河川	青森		1	
阿武隈川	阿武隈川	1		岩手		9	
信濃川	千曲川	1		宮城	18	36	32
久慈川	久慈川	3		山形			10
荒川	越辺川	2		福島	23	49	42
荒川	都幾川	1		茨城	4	6	27
那珂川	那珂川	3		栃木	13	27	40
				群馬			3
				埼玉	2	2	31
				東京			7
			神奈川			7	
			新潟	2	2	5	
			山梨			5	
			長野	5	6	19	
			静岡			34	
			三重			2	

※令和元年11月21日 時点

# 台風第19号の影響による河川の被害状況（決壊発生箇所）

国 12箇所  
 県 128箇所  
 計 140箇所



**X** : 国管理河川決壊箇所  
**—** : 国管理河川  
**X** : 都道府県管理河川決壊箇所

※気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会資料に加筆

# 堤防調査委員会への対応

名称	対象箇所	国総研からの委員名
<b>阿武隈川堤防調査委員会</b> (東北地整河川部/福島河川国道事務所)	阿武隈川上流左岸98.6KP 福島県須賀川市浜尾地先	水防災システム研究官 服部 敦
<b>鳴瀬川堤防調査委員会</b> (東北地整河川部/北上川下流河川事務所)	鳴瀬川水系吉田川左岸20.9KP 宮城県大郷町粕川字電三郎地先	
<b>荒川水系越辺川・都幾川堤防調査委員会</b> (関東地整河川部)	荒川水系の国管理区間の決壊箇所等(越辺川右岸0k、左岸7.6k、都幾川0.4k右岸)	河川構造物管理研究官 諏訪 義雄
<b>久慈川・那珂川堤防調査委員会</b> (関東地整河川部)	那珂川右岸28.65k、左岸40.0k、右岸40.0k 久慈川左岸27.0k、左岸25.5k	
<b>千曲川堤防調査委員会</b> (北陸地整河川部/千曲川河川事務所)	千曲川左岸58.0KP、左岸104.0KP	河川研究室長 福島 雅紀
<b>令和元年台風第19号により被災した河川構造物等の設計検討会</b> (宮城県)	内川・新川・五福谷川	水防災システム研究官 服部 敦





# 阿武隈川



斜め写真（国土地理院 10月13日）に加筆

# 写真1 阿武隈川左岸98.6kp付近の決壊状況



- ・樋門が位置する約50mの区間で決壊が生じた。
- ・堤内側に堤防法尻と推察される斜面が見られる。
- ・調査時(10月16日)堤防跡地の整正在進んでいた。

# 鳴瀬川水系吉田川の被災状況撮影位置

流域界  
国土交通省直轄管理区間  
国土交通省直轄完成ダム

山形県  
宮城県

黒川郡  
大郷町  
中村  
道の駅  
吉田川  
新江合川  
鳴瀬川  
松島湾  
石巻湾

国土地理院地図に加筆

北上川  
旧北上川  
太平洋

# 吉田川



# 写真2 鳴瀬川水系吉田川左岸20.9kp付近の決壊状況



- ・約100mの区間で決壊が生じた。
- ・小段下の川側法面背後には、基礎地盤が深く掘られた地形(落堀)が形成されている。



# 都幾川



垂直写真（国土地理院 10月13日）に加筆

# 写真3 都幾川右岸0.4kp付近決壊箇所での緊急復旧状況



- ・約110m※の区間で決壊が生じた。
- ・洪水位は、堤防の設計水位を大きく上回っており、越水の痕跡が確認された。
- ・緊急復旧工事による締切りが実施中。

※後日開催の堤防調査委員会資料においては決壊区間約90m。



# 那珂川



# 写真4 那珂川右岸28.6k p付近の決壊状況



- ・約250mの区間で決壊が生じた。
- ・洪水位は、堤防の設計水位を大きく上回っており、越水の痕跡が確認された。
- ・緊急復旧工事による締切りが実施中。



# 千曲川



# 写真5 千曲川左岸58k付近に形成された落堀



- ・約70mの区間で決壊が生じた。
- ・堤防の一部が残存したものの堤内地に向かって大きな落堀が形成。
- ・緊急復旧工事による締切りが実施中。

## 写真6 千曲川左岸104k p付近の堤防欠損箇所



- ・約300mにわたって左岸側河岸が欠損。
- ・河岸が洗掘され、鉄道橋梁のアバットが流出。
- ・河床勾配は1/200~1/400と急である。